



宮ヶ瀬湖から、風のたより

NPO法人
宮ヶ瀬湖ポートクラブ
第2巻第1号

2008年1月xx日

1. 新年のごあいさつ

宮ヶ瀬湖ポートクラブ会長 山下 長兵衛

宮ヶ瀬湖ポートクラブの会員の皆様！ 漕友の皆様！

明けましてお目でございます。皆様におかれましては、新春早々、寒風もなんのその、宮ヶ瀬湖をはじめ、相模湖、鶴見川、あるいは戸田ポートコースなどで初漕ぎを楽しまれたことと思います。

最近では市民ボートが盛んとなり、年齢や男女の区別なく、同じボートで老若男女がクルーとなって、ボートを漕いでいる風景を見かけるようになりました。社会人、とりわけ高齢者の方々が元気にオールを引いている姿からは、感動と元気と勇気を頂きます。

わが宮ヶ瀬湖ポートクラブは、今年で創立5年になります。私も、山口前会長の後を引き受けて3年目に入ります。会員の皆様共々、宮ヶ瀬湖のボートを盛り上げるために、共に力を合わせ歩んでいきたいと思っております。

皆様！今年も宮ヶ瀬湖から、“元気”を発信しようではありませんか！



2. 2007年、第5回紅葉レガッタのご報告

第5回宮ヶ瀬湖紅葉レガッタは19年11月25日、絶好の晴天の下、42クルーの参加を得て開催されました(参加クルー及び優勝クルーは右表)。今大会はエイトの参加が減少したものの、KFとクオドルプルが増加。高齢者が多い紅葉レガッタでクオドルプルの参加が増えつつあることは注目すべきことです。レースは2レーンのマッチレース。そのレースの様子をモーターボートから近接撮影をして、ホームページにアルバムを公開しました。このアルバムは、力漕中の漕姿を水平視線で撮影したもので、クルーの方々には大変喜んで頂きました。さらに今回は鶴見川で練習している7才から14才の少年少女が4名参加。また大学現役クルーが8+で男女併せて3クルー、クオドルプルで男女2クルー、KFで高校生クルーが参加。年齢別ハンデを売り物にする紅葉レガッタに、かくも多くのハンデがつかないクルーの参加を得たことは、紅葉レガッタが現役世代の視野に入ってきたことを伺わせるもので、主催者は大いに力づけられました。紅葉レガッタは、北里・東海・防衛の3大学ボート部員の協力で運営されています。

来年からは、共立女子大が加わりたいとの希望があり、主催者としては、これら大学クルーの交流を深める場として、大学生にも楽しんでもらえる場作りを提案して行きたいと考えています。

参加クルー及び優勝クルー

種目	クルー	優勝
男子8+	14	バルテ会
女子8+	3	稲門ドル「本命」
男子4+	3	稲門ドル「連覇」
男子4x+	3	Team Seri The one
女子4x+	1	共立女子大学A
混成4x+	3	バルテ会
男子KF	8	中央大学 杉並高校
女子KF	1	中央セレブ
混成KF	6	津久井 ローリークラブ



3. 2008年、初漕ぎ

2008年の幕が開きました。未広がりの縁起のよい年を祈っての初漕ぎを、1月5日(土)に実施。年末の漕ぎ納めから2週間しか経っていませんが、なにやら懐かしい気持ちになります。ボートが好きでたまらないといった17名の顔がそろう、新年の挨拶もそこそこにエイトとクオド2艇を静かな湖面に浮かべました。曇天ながら時折陽光がさしこみ、鏡のような水面を輝かせます。にじの大橋をくぐり、白き峰蛭ヶ岳、747mの仏果山が見守る中を、漕ぎ進みます。碧水はいつものまま、流木も枯葉もなく、えもいえぬ気分です。休むたびに、誰からともなく「しわせだなあ」「いいねえ」の歓声があがります。往復8キロ「湖面ひとりじめ」の漫漕を満喫しました。乗艇前に、ナット・ねじの点検、工具・塗だし・ケイタイ携行を確認し、安全第一を肝に銘じたことは言うまでもありません。毎週土曜日の「漕ぐ会」がこうして始まりました。ひとりでもクルーでも自由に参加できます。そのときの参加人数次第で、配艇します。初心者も大歓迎です。大自然の中で「心の洗濯」にはもってこいのローイングをしませんか。



2007年 NPO宮ヶ瀬湖ボートクラブ「一葦会」 思い出のできごと



今井さん、観桜レガッタで
レースデビュー



浜松合宿 佐鳴湖



浜松合宿 天竜川



紅葉レガッタ大成功
記録集計のミス(涙)



「陸上部」やまびこマラソン



ホームページ立ち上げ
高原さん、ありがとう！



今や恒例のドラゴンボート



エイト沈、ダブルスカル沈
安全議論をまき起こす



4X-1艇、KF2艇が加わる



ボートマラソン
エイト28分台、クオード33分台！



士曜漕ぐ会参加実績

延べ約500名

ゲスト26名

参加費約25万円



LMBC goes international!
Kristukat family 来湖



高原さん、琵琶湖周航に参加



第2Tシャツ制作

I'd rather be Rowing!



「登山部」焼山へ



戸田(へだ)合宿「達磨山」
富士山を見ながらランニング

お問合せは

鶴野省三(宮ヶ瀬湖ボートクラブ副会長)宛 電話:046-884-3571 / FAX 046-836-6785 e-mail: s_tsuruno@ybb.ne.jp